



6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 本事業実施により新たなビジネスモデル等の創出に資する研究開発が進展する

指標	指標名	外部資金獲得件数						指標の種類	
	指標式	本事業を活用した事業のうち、翌年度実用化研究開発等に向けた外部資金の獲得に成功した件数						成果指標 業績指標	
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度
	目標a			4					
	実績b			データ等の出典					
	東北 全国			実施主体に対するヒアリング調査による					

把握する時期 当該年度中 月 翌年度 08月 翌々年度 月

指標	指標名							指標の種類	
	指標式							成果指標 業績指標	
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度
	目標a								
	実績b			データ等の出典					
	東北 全国								

把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月

指標を設定することができない場合の効果の把握方法  
 指標を設定することが出来ない理由

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

**現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性**  
 新型コロナウイルス感染症の拡大により社会ニーズが大幅に変化しており、新たなサービスやビジネスモデルの創出は急務である。

**住民ニーズに照らした事業の必要性**  
 県内企業等に限らず住民にとっても新たな事業等により産業振興、地域経済の活性化を進め雇用の場を確保していくこと等が重要であり、ニーズが高い。

**事業の県関与の必要性**  
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの  
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

県内大学等の研究シーズを活用して県内企業等との共同研究等により新たなビジネスモデル等を作り上げていくことは、重要課題として県が実施すべき事項である。

政策評価委員会意見		重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
		重点事業 其他